

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
公民	倫理	2	選択	文系	2

教科書（発行所）	改訂版 倫理（数研出版）
教科書以外の教材	1 テオーリア 最新倫理資料集（第一学習社） 2 倫理用語集（山川出版社）

目 標	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を目指し、良識ある人間として必要な能力を育てる。
-----	---

	学期	学習時期	学習事項	学習内容	考查等
学習のねらい	1 学期	4月	第1編 現代に生きる自己の課題	○人間とは ○青年期の特徴	期末 考查
		5月	第2編 人間としての自覚	○古代ギリシア思想	
		6月		○世界三大宗教 ○中国思想	
		7月		○西洋近代思想	
	2 学期	9月	第3編 現代に生きる人間の倫理	○現代思想	中間 考查
		10月			
		11月		○古代日本思想	期末 考查
		12月		○外来思想の受容 ○近代日本思想	
	3 学期	1月	第4編 国際社会に生きる日本人としての自覚	○生命倫理 ○環境問題 ○地域社会の課題 ○人類の福祉	学年 末 考 査
		2月			
3月					

授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	<ol style="list-style-type: none"> 1 課題・提出物等の期限を守る。 2 プリントは空欄を埋めるだけでなく、説明を聞いてメモを取ったり、アンダーラインを引いたりする習慣をつける。プリントが自分の参考書代わりになるので、後から復習で活用できるようにまとめる。 3 最低でも週に1回は授業内容を振り返る。 4 日々の生活の中の出来事を、論理的思考を通して受け止める態度を持ち、視野を広げられるよう意識する。
----------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会の成り立ちや人間のあり方にかかわる基本的な知識を身に付けている。 2 現代の社会や人間にかかわる事象を理解するために、それらの知識を用いたり諸資料を読み解いたりして、効果的に活用することができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会の成り立ちや人間のあり方について、社会の変化をふまえて、多面的に考察し、公正に判断することができる。 2 自己の考えを、論理的に述べるすることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会の成り立ちや人間のあり方について、関心をもち、理解しようと努めている。 2 現代の社会が抱える課題について、改善・解決する方法を意欲的に追究することができる。
評価の方法	考查（定期考查・課題考查）および授業等において、知識・技能および思考力・判断力・表現力について問い、それとともに、課題提出状況、出欠状況、授業に臨む姿勢や意欲なども含めて総合的に判断して評価する。		